

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	会社の介護方針「個別ケア」「認知症ケア」「看取りケア」「地域ケア」を大切にする4つの介護方針の基、平成29年に柿崎区内では初めての小規模多機能居宅介護をオープンしました。ご利用者様一人一人が住み慣れた地域の中で自分らしく生活が継続できるよう支援していきます。				
事業所名	あつたかほ一む柿崎	管理者	篠原 拓也						

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	令和3年度 外部評価より ・スタッフ一人一人が各項目を理解し事業所自己評価出来るように1つ1つの内容を理解する。	・具体的に理解する方法を提示していなかった為「分からない」にチェックが多くついていた。	・自己評価では何とか出来ているが無理せず対応してもらいたい。 ・書面だけなのでイメージしづらい。	スタッフ全員が各テーマにの内容を理解して評価できるように評価前に各テーマの活動状況を共有し不明点があれば事前に聞き取りをして状況を把握したうえで事業所自己評価を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	令和3年度 外部評価より ・音や臭いの見えないものも環境だという事を意識して環境作りを行う。	・見える物は環境の一部であることを意識して整理等していたが音や臭いに対しては意識が薄く慌ただしく動いてしまったり大きな音を立ててしまう事もあった。	・事業所に入ったことがないので分からぬ。	職員も環境の一部と考えて必要以上に声を出したり慌ただしく行動しない。
C. 事業所と地域のかかわり	令和3年度 外部評価より ・ブログや柿崎通信での宣伝を通じ、地域の方に知って頂き、活動を継続していく。	柿崎通信やブログは見て頂ける方が限られてしまっているように感じた。	・コロナ禍でもあり関わる機会ほとんどない。 コロナ禍が続きどこも苦慮しています。 もう2年近くになりますがそちらの担当の方とあったことがありません。	コロナウィルス感染症も落ち着いてきているので積極的に地域のイベントや行事に参加し地域の方との交流の機会を持ち事業所を知らない方にも知って頂きつながりをつくる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	令和3年度 外部評価より ・コロナが落ち着いたら、積極的に地域行事等に参加し、地域の方々とコミュニケーションを取り、事業所行事等にも参加して頂けるよう取り組んでいく。	・コロナ禍の中で状況に応じて時期や人数を絞りイベントや行事に参加した。 ・少しづつだが参加できる機会は増えた。	・地域の方との関りや情報を収集して欲しい。 ・利用者様には出来る範囲でイベントや行事等の楽しみを提供して欲しい。	地域のイベントや行事に参加し利用者様が地域との交流をもち地域とのつながりを持てるように取り組んでいく。 散歩等の外出した時に地域の方と挨拶から始め良好な関係を作っていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	令和3年度 外部評価より運営推進会議で地域の心配事や課題を検討し地域活動に取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での心配事や課題を共有する機会がなかった。 ・地域のなかで出来ることを模索していたが取り組みには至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書面開催では分からぬ部分が多い。 ・運営推進会議で出た意見を検討し改善に繋げて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の利用状況や取り組みを具体的に報告する。 ・運営推進会議のメンバーの方と地域の課題や心配事を共有し取り組んでいく。
F. 事業所の防災・災害対策	令和3年度 外部評価より ・近年、色々な災害が起きている状況なので、事業所だけではなく近隣の住民の協力が必要になってくるので、地域の防災情報を共有していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の想定される災害に関しては把握し災害訓練を行い備えているが地域の防災情報の共有は出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関しては6区でもいろいろと指導など受けているがなかなか具体的な訓練には至っていない。 	地域の方にも事業所の災害訓練に参加して頂きどのような災害が想定されどの様に行っているか知って頂く。